

# 令和7年度 第2回丹波篠山市農都創造審議会 次第

日時：令和7年7月9日（水）14:30～

場所：丹波篠山市民センター 2階 研修室5

## 1. 開会

事務局

## 2. あいさつ

会長あいさつ

## 3. 会議の公開について

異議なし

## 4. 審議会成立宣言《規則第4条第2項》

14名中8名参加。過半数の参加により審議会成立

■□■□■□ 以降、会長進行 ■□■□■□

## 5. 議事

### (1) 前回の意見を踏まえた計画の修正内容について

【資料1：丹波篠山市農都創造計画新旧対照表. 資料2：第2次丹波篠山市農都創造計画（案）】

事務局より概要説明ののち、各委員の意見交換（下記のとおり）

### (2) 施策指標について

【資料3：第2次丹波篠山市農都創造計画施策指標（案）】

事務局より概要説明ののち、各委員の意見交換（下記のとおり）

※会議終了後のご意見・ご提案については、7月18日（金）までに事務局へご連絡ください。

FAX：079-552-2090

e-mail：takemi-masanori@gw.city.sasayama.hyogo.jp

## 6. 次回審議会

令和7年 月 日（ ）：

8月上旬で日程調整

## 7. 閉会

丹波篠山市農都創造審議会 委員名簿

	区 分 (選出組織)	氏 名	役 職	備 考
1	農業者	若狭 幹雄		
2	農業者	吉良 佳晃		欠席
3	農業団体の代表者 (丹波篠山市農業生産組合協議会)	堀井 聡		欠席
4	農業団体の代表者 (丹波篠山市認定農業者連絡協議会)	湊 友加		欠席
5	農業団体の代表者 (丹波篠山市農業委員会)	酒井 正博	副会長	
6	事業者の代表者 (丹波ささやま農業協同組合)	小川 昌秀		欠席
7	事業者の代表者 ( (一社) 丹波篠山市観光協会)	北川 敦雄		代理
8	学識経験を有する者 (神戸大学)	清野未恵子		
9	学識経験を有する者 (前摂南大学)	小野 雅之	会長	
10	学識経験を有する者 (兵庫丹波生活研究グループ連絡協議会)	木村 葉子		欠席
11	学識経験を有する者 (丹波篠山市いずみ会)	田中外喜代		
12	学識経験を有する者 (丹波篠山市自治会長会)	梶村 和久		欠席
13	公募委員	北村 和義		
14	公募委員	吉田 晴紀		

	事務局職員	氏 名	備考
1	農都創造部 (農業担当) 部長	岸野 良広	
2	農都創造部 (森づくり担当) 部長	押田 健一	
3	農都創造部農都創造政策官	森本 秀樹	
4	農都創造部農都創造政策官	清水 夏樹	
5	農都創造部農都環境政策官	田代 優秋	
6	農都創造部森づくり課 課長	団野 顕一	
7	農都創造部農都政策課 課長	竹見 政徳	
8	農都創造部農都整備課 課長	森本 昌之	
9	農都創造部農都政策課 課長補佐	青野 大地	
10	農都創造部農都政策課担い手支援係 係長	石原 卓人	
11	農都創造部農都政策課農業係 係長	武中 和也	

## 各委員の意見交換

### A委員

基本目標1「多様な担い手の育成」のこれまでの市の取組の文中に『集落の農業や農地は集落で守る』とある。丹波篠山市はこの考え方を基本として農業に取り組んできたが、核となる人材が集落に何人もいたから成り立っていた。しかし今後、そうした人材が少なくなることが予想される。今後の方向性と具体的な取組の記述は、集落よりさらに広い地区（旧小学校区）の枠組みで人材を確保し農業を守っていくため、地域計画を主軸に表現したほうが良いのではないかと。

### 会長

これまでの市の取組の文中に、地区単位で地域計画が策定された旨や、今後の方向性と具体的な取組の文中にも地域計画を基に農業を進める内容が書かれており、地域計画が前面に出ているかと思われま。

### 事務局

集落の農地を次の世代に引き継いでいくことが地域計画の基本であり、集落を基軸に近隣の集落もまとまって地区全体で課題を検討していくのが、丹波篠山の地域計画の進め方です。

### B委員

文章の構成についてですが、(4)「今後の方向性と具体的な取組」の表題を(4)「今後の方向性」と(5)「具体的な取組」の二つに分けたほうがわかりやすいと思います。

### B委員

丹波篠山では、広い範囲で金網柵を張り、地域が積極的に被害防除と個体数管理を行っています。基本目標4「農地の保全と活用」の今後の方向性と具体的な取組の記述の中で、「有害鳥獣について適正な個体数管理に加え捕獲体制を整備し、被害抑制を進める」という項目があります。捕獲体制の強化により適正な個体数管理を行い、地域の被害防除事業を推進することで地域内の被害抑制を進めていくという書き方が、より適切ではないかと思ひます。

また、金網柵の老朽化が進むなか、「金網柵や電気柵の設置への助成制度を活用し、防除設備の整備を支援します」という項目に、老朽化した柵を再整備するための支援も含めたニュアンスが必要かと思ひます。

### 会長

B委員の言われた表現を参考に、書き方を検討してください。

### C委員

先ほどの獣害の問題では、「獣害や用排水施設の不具合などを地域計画と連動させ、基盤整備や獣害防除事業などの整備を計画的に推進」や、「ストックマネジメントの手法を活用し、農業用施設の劣化状況の把握、更新計画の策定、優先順位に基づく修

繕を計画的な実施」にも関連しますが、10年後を見据えた計画であれば、大規模農家が獣害対策に取り組むよう誘導する必要があると思います。

集落だけでなく、大規模農家も幅広く獣害対策に取り組めるよう、ドローンや赤外線を用いた農業環境整備に対する助成も、今後はあったほうが良いかと思います。

#### **D委員**

C委員の言われた農業環境整備の問題は、農都創造計画の文章に明記するのは難しいと思いますが、現状の役割分担が不明確な部分もあるので、必要な観点かと思います。

#### **事務局**

C委員が言われた内容は、「集落と大規模農家が連携し、水路や獣害柵の点検など農業用施設の維持管理、草刈や水管理などを集落が支援するなど、役割分担の仕組みづくりにも地域住民とともに取り組んできました」と記載しており、今後の方向性と具体的な取組の中でも、「担い手を育て、支える意識を共有し、大規模農業者や集落営農組織、小規模農業者が担うべき役割を明確にすることで、新たな担い手の定着と活躍を後押しします」としています。地域計画のなかでその内容も話し合うことが大事だと思います。わかりやすい表現に書き換えます。

#### **A委員**

耕作されなくなった農地についても、必要に応じ畦畔や水路などの基盤を整備し、農地を集積して耕作していくという趣旨の文言はどこかに記載できますか。

#### **事務局**

基本目標4「農地の保全と活用」の今後の方向性と具体的な取組の記述の中で、農地の集積に対する基盤整備の内容に触れています。

#### **会長**

基本目標4「農地の保全と活用」の今後の方向性と具体的な取組の記述の中で、「ICTやドローンなどを活用し、有害鳥獣の捕獲効率の向上と被害の可視化を図ります」の記載は、「捕獲効率の向上」と「被害の可視化」が逆ではないでしょうか。

#### **事務局**

地域計画での話合いなどを通じて基盤整備を進めていくなど、内容を見直します。

#### **E委員**

基本目標1「多様な担い手の育成」の今後の方向性と具体的な取組に、「女性農業者の活躍推進」の項目がありますが、ジェンダー多様性の時代に「女性」を強調するのは変ではないでしょうか。

#### **D委員**

老若男女問わず多様な担い手が活躍するという趣旨の一環かと思いました。

#### **C委員**

読む人によっては女性が農業に従事してこなかったと捉える人もいるかもしれま

せん。

#### **B委員**

農業に従事することが難しくなる、出産、育児中の子育て世代への支援ということ  
をイメージしてるのか。または、地域活動に参加しづらいという性別的な問題をなく  
していこうということなのか、どちらかによって見方は変わると思います。

#### **会長**

女性がリーダーシップを持ち、農業経営の中心部門を主体的に担当されてるケース  
はたくさんあり、そういった活躍の場を広げていこうという趣旨だと思いますが、そ  
のあたりのニュアンスをどう考えるかです。

#### **事務局**

主語が「女性」と強調されてしまっているので、内容を修正します。

#### **E委員**

他の箇所でも「女性」を記載されていたり、「高齢者」と書かれていたりするので、  
上手く表現を変えてください。

#### **会長**

第2次農都創造計画の基本方針で「環境と食を持続可能にする農業システム」とあ  
りますが、この表現は適切でしょうか。

#### **B委員**

農林水産省は持続的な食糧農業システムに環境配慮を含めており、丹波篠山でもそ  
うした趣旨を盛り込んでいると思います。

#### **会長**

この表現のままでも良いですし、もう少し適切な表現があれば変更するなど、検討  
してみてください。あと、基本目標4「農地の保全と活用」のめざすべき将来像で、  
「農業者と地域住民が協力し・・・」とあるが、「農業者」も「地域住民」に含まれる  
のではないですか。

#### **事務局**

集落に土地を持っているが、他の地域に住んでいる非農家も農業者の一部に含める  
場合もあり、農業者と地域住民の境目が曖昧な面もあるので、「農業者と地域住民」と  
表現することですべてを網羅しています。

#### **B委員**

「地域内外の・・・」という表現に変えてはいかがでしょうか。

#### **事務局**

修正します。

#### **会長**

続いて、施策指標についてご意見を伺います。

## C委員

施策指標について、前回の意見も踏まえて黒大豆の整粒率を挙げていますが、目標値を40%としたのは何か根拠がありますか。

## 事務局

平成30年に40%を記録したのち、現在まで下降しているなかで、当時の水準まで回復させようという趣旨です。市内で定点調査をしており、その数字を基本としていこうと考えています。

## D委員

農業生産組合協議会の加入者数が91から90に減っていますが、この根拠は何ですか。

## 事務局

農業生産組合協議会については、解散の意向を示している組織もあるなか、現状維持に努めていこうという趣旨です。

## 事務局

集落営農組織については、解散するものや、新規に組織化するもの、再編するものなどいろいろあるなかで、現実的な組織数として90の維持を考えています。

## D委員

黒大豆の作付面積も減っていますが、この根拠は何ですか。

## 事務局

黒大豆の作付面積は、黒大豆・黒枝豆を合わせた面積を記載しています。平成29年をピークに増えたり減ったりを続けており、今年の速報値は7月8日時点の集計で680ヘクタールでした。昨年度の黒大豆の作付面積は748ヘクタールであり、最近の米価の高騰を受け稲作にシフトする動きもあったため、今回少し減少しています。

## D委員

農業生産組合協議会に加入していない集落営農組織はありますか。

## 事務局

正確な数は把握していませんが、加入していない組織もあります。

## D委員

集落営農組織が存在する集落数を指標とするのは可能ですか。

## 事務局

兵庫県では、集落営農組織が存在する集落数を指標としています。変更は可能です。

## 会長

多様な担い手のなかで集落営農を掲げていることから、集落営農組織に関する何かの指標はあったほうが良いと思います。

## D委員

今後、集落営農組織数が減少していくのはやむを得ないと予想してしまして、組織

数を指標として示すには相応しくないようにも思いますが。

#### 会長

兵庫県が把握している、集落営農組織が存在する集落数を、市でもカウントできるようであれば、検討してください。

#### C委員

地域計画に位置付けられた「農業を担う者」が担う農地面積の割合で、将来目標 70%の根拠は何ですか。

#### 事務局

農地面積の割合について、現在値の 65%から将来 70%を目指すとしていますが、策定した地域計画の地区のなかには、現在値が 70%の地区があり、市全体としてその地区の割合を目標としています。

#### C委員

農業振興地域内の農用地の割合を指標に関連させる考え方もありますが、現在篠山全体の農地のうち、農業振興地域内の農用地はどのくらいの割合がありますか。

#### 事務局

農地全体はおよそ 4,200 ヘクタールで、そのうち農業振興地域内の農用地は約 3,500 ヘクタールです。

#### 会長

農業振興地域内の農用地は、毎年除外される土地もありますが、大きくは変わらないものなので、地域計画に位置付けられた「農業を担う者」が担う農地面積の割合を指標とすることで良いと思います。

#### C委員

スマート農業導入面積を指標とする意図を教えてください。

#### D委員

スマート農業機械の定義もいろいろあります。将来目標を検討中としているので、数値把握が難しいと思いますが、現状の面積の根拠は何ですか。

#### 事務局

兵庫県が整理した数値で、国県補助金を活用して導入した機械で耕作する面積です。

#### 事務局

農業をスマート化し労働コストを軽減することによって品質向上に繋げていくという趣旨の指標としています。

#### D委員

5年後もカウントが可能なのであれば、指標としても良いかと思います。

#### C委員

前回の審議会で提示された指標で、今回削除したものはありますか。

## 事務局

「特産ブランド関係の栗の販売額」、「環境分野の生き物調査を実施する組織数」、「水路整備において自然素材を使用し生態系に配慮して取り組む組織数」「直売所の利用者数」、「学校給食で使用する野菜品目（地元産の使用率）」、「農業振興地域内の農用地の面積」、「農地の流動化率」、「観光ポータルサイトへのアクセス数」、「観光者の入り込み数」などの項目を削除し、14項目としました。

## 会長

指標は多ければ良いというものでもないので、内容に応じて減らせば良いと思います。